



# JICA による上水道分野の協力について

JICA 地球環境部水資源グループ  
水資源第一チーム 課長

田村 えり子

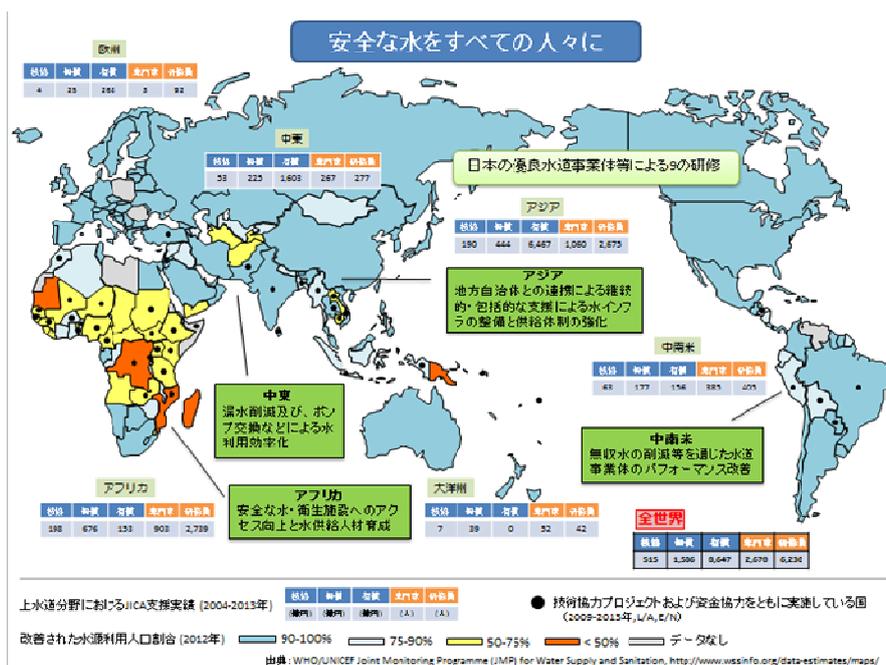
## 1. はじめに

世界保健機構（WHO）と国連児童基金（UNICEF）によると、改善された飲用水源にアクセスできない人の割合は、1990 年の 24%から 2015 年には 9%に減少したと言われていますが、それでも改善されていない飲用水源を利用している人々が 2015 年の時点で 6.63 億人<sup>1</sup>ほど残されています。今年 9 月の国連サミットでは、「ミレニアム開発目標（MDGs）」に続く国際開発目標として、「ポスト 2015 年開発アジェンダ」が採択される予定ですが、水についても、目標案の中で「2030 年までにすべての人々の安全で安価な飲料水の普遍的かつ平等なアクセスを達成する」<sup>2</sup>など 6 つのターゲットが提案されており、引き続き重要視されています。全世界における 2010 年から 2011 年にかけての水・衛生分野の支援額 76 億ドル／年の中で、日本の支援額は 18 億ドル／年を占めており<sup>3</sup>、トップドナーとして大きく貢献してきましたが、今後より一層日本の支援に対する期待が高まるものと想定しています。

日本国内の動向としては、今年 2 月に閣議決定され

た「開発協力大綱」<sup>4</sup>において、「質の高い成長とそれを通じた貧困撲滅」、「地球規模課題への取組を通じた持続可能で強靱な国際社会の構築」などが重点課題としてあげられており、これらの課題に取り組むために、ODA と ODA 以外の資金・協力との連携を図るなどの戦略性の強化、日本の持つ強みを活かした協力を推進するとされています。JICA では、このような政府方針に基づき、「質の高い成長と格差是正」、「地球規模課題への取り組み・援助潮流への取り組みの強化」、「戦略的パートナーシップの拡大と深化」といった事業展開の方向性<sup>5</sup>を定めています。

JICA 地球環境部では下水道を扱う環境管理グループ、治水を扱う防災グループ、上水道および水資源全般を扱う水資源グループの 3 つのグループが開発途上国における水問題に取り組んでいます。本稿では、以上のような背景を踏まえつつ、主に上水道分野に関する支援の方向性や実績についてご紹介させていただきます。



<sup>1</sup> WHO/UNICEF 25 Years Progress on Sanitation and Drinking Water - 2015 Update and MDG Assessment

<sup>2</sup> <https://sustainabledevelopment.un.org/content/documents/1579SDGs%20Proposal.pdf>

<sup>3</sup> <http://www.oecd.org/dac/stats/49839924.pdf>

<sup>4</sup> [http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/seisaku/taikou\\_201502.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/seisaku/taikou_201502.html)

<sup>5</sup> <http://www.jica.go.jp/about/direction/index.html>

## 2. JICA の上水道分野の支援の方向性

### (1) 地方自治体及び民間企業との戦略的パートナーシップの拡大・深化を通じた途上国の水問題の改善

日本の近代水道は 1887 年に横浜から始まり、2013 年時点では普及率も 97.5%に達し「国民皆水道」がほぼ実現されています。日本の水道システムは、普及率だけでなく水質の良さ、漏水率の低さなどの観点から主要先進国のトップクラスですが、このような事業運営は日本の地方自治体が豊富なノウハウを有しており、これまでも研修員の受け入れや、技術協力プロジェクトの実施、専門家派遣などで多大なご協力をいただいています。先般、草の根技術協力事業地域活性化特別枠（平成 26 年度補正）の採択案件を発表しましたが、31 件中 5 件が上水道分野である<sup>6</sup>など、上水道分野の国際協力に対する関心も高まっていると感じています。最近では、地方自治体と連携した無償資金協力も実施したり、上水道事業に関する日本の知見や経験のとりまとめも行う予定であり、地方自治体との連携を更に強化していきます。

民間企業との連携に関しては、すでに協力準備調査（PPP インフラ事業）や中小企業海外展開支援事業等で、毎回多くの民間企業より上水道関連の事業の提案をいただいています。水ビジネスの海外展開を強く期待されているところですが、実際には PPP 関連制度の不備や、相手国機関の理解不足、調整の難しさなどの課題やリスクが多いのが現状です。民間関連団体との情報共有や、JICA 事業の活用に関する意見交換の促進により、本邦民間企業が開発途上国の水道事業においてより存在感を増していくきっかけを作りたいと考えています。また、開発途上国においても、フィリピンやインドネシア、インドなど、PPP による水道事業の推進を積極的に進めようとする国、ラオスやカンボジアなど民間企業の事業運営に対するコントロールが十分ではない一方で民間企業による事業が拡大している国など状況は様々ですが、開発途上国において適切な官民の役割分担により安定的な上水道事業の運営ができるよう、PPP ガイドラインの整備や情報提供等の支援を行っていきます。

### (2) 重点国・地域における事業推進

2013 年 6 月に横浜で行われた第 5 回アフリカ開発会議（TICAD V）では、日本政府が、2013 年から 2017 年までの 5 年間に 1,000 万人への水及び衛生施設へのアクセス改善と都市水道技術者 1,750 名の育成を公約しています<sup>7</sup>。JICA は、2014 年度までに約 412 万人への水・衛生へのアクセス改善と 1,615 名の技術者育成を行ってきましたが、サブサハラアフリカにおける改善された飲用水源にアクセスできない人の割合は 32%と他地域に比べて格段に大きく、支援の拡大が求められ

ています。アフリカでは都市給水案件も増加しつつあり、スーダンでは水公社の能力強化にカイゼン活動をとりに入れるなどユニークな試みを取り入れている協力もあります。

また、中東・南スーダン等、紛争影響国・地域においては、住民の生活環境の中でも水問題への改善要望が強く、JICA はこれまでもヨルダン北部におけるシリア難民支援などを行ってきました。今年 10 月には国際水協会（IWA）Development Congress において、カンボジアやスーダンなどの事例を紹介する予定ですが、人間の安全保障の推進の観点からも、紛争影響国・地域から上水道分野の支援の要請には応えていきたいと考えています。

2013 年度の JICA による地域別支援実績としては、技術協力の 36.7%、有償資金協力の 79.6%、無償資金協力の 43.0%がアジア向けとなっており<sup>8</sup>、アジアが主要な支援対象地域となっています。上水道分野に関しても各国で支援を進めていますが、中でもミャンマーのヤンゴン市に対しては、2014 年に「ヤンゴン市上下水道改善プログラム協力準備調査」により、2040 年を目標とした「ヤンゴン市水ビジョン」や上水道マスタープランを作成し、技術協力「ヤンゴン市開発委員会水道事業運営改善プロジェクト」及び有償資金協力「ヤンゴン都市圏上水道整備事業」（借款金額：236 億 8,300 万円）<sup>9</sup>を開始するなど、集中的に事業を展開しています。配水管網による給水を受けている人口は市全体の約 37%、無収水率は約 66%にのぼり、塩素消毒がされていないなど課題山積ですので、チャレンジのしがいがあると感じています。アジアに対する上水道分野の支援の成功例としては、「プノンペンの奇跡」と呼ばれるプノンペン水道公社（PPWSA）に対する支援実績がありますが、日本国内の地方自治体・民間企業関係者皆様の支援をいただきながら、ヤンゴンが第二のプノンペンとなる日を目指し、取り組んでいきたいと考えています。



ミャンマーにおける専門家の指導

<sup>6</sup> <http://www.jica.go.jp/partner/kusanone/tokubetsu/index.html>

<sup>7</sup> [http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/files/ticadv\\_2013\\_koudou\\_beppyou.pdf](http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/files/ticadv_2013_koudou_beppyou.pdf)

<sup>8</sup> <http://www.jica.go.jp/about/report/2014/ku57pq00001nohem-att/05.pdf>

<sup>9</sup> [http://www.jica.go.jp/press/2014/20140905\\_01.html](http://www.jica.go.jp/press/2014/20140905_01.html)